

- 3日 第174回関西集会
- 9日 松村代表幹事が公益財団法人矯正協会へ昨年度実績の説明をした。
- 16日 第150回関東集会
- 20日 有志が書道展にて岡村顧問の作品を鑑賞した。
- 同日 林代表幹事代りが近畿管区警察学校で「犯罪被害者家族の思い」を講演した。
- 24日 第150回幹事会

2016年5月

- 1日 第175回関西集会 シンクキッズ児童虐待防止法案設立の署名活動に協力した。
- 18日 松村代表幹事、渡辺・高橋（正）副代表幹事は第3次犯罪被害者等基本計画において当会の主張に理解を示してくださった国会議員の方々を訪問し謝意を述べた。
- 21日 第151回関東集会

2016年6月

- 1日 「国外犯罪被害弔慰金等に関する法律」が成立した。
- 2日 岡本会員が長崎県警察本部の依頼により警察学校において被害者の心情と支援について講演した。
- 3日 第58回全国矯正展出展した。
- 5日 第176回関西集会
- 18日 第152回関東集会

2016年7月

- 1日 野口会員が近畿管区警察学校にて講演した。
- 3日 第177回関西集会
- 8日 高橋（幸）幹事が（社）日本精神科看護協会／精神科認定看護師資格拾得の為の研修にて講師を務めた。
- 16日 第153回関東集会

会員の声

ミャンマーで娘を殺害されて

白松 弘美

娘の千晴は、静岡県立ガンセンターで看護師をしていました。仕事柄どうしても死に向き合うことが多く、特に若い方の死には、いたたまれなくなり学生時代から好きだった海外旅行に行くことで気持ちをリフレッシュしていました。今回も1週間の予定でミャンマーへ向かいました。

2011年9月29日、朝10時頃、外務省からかってきた1本の電話で私たちの苦しみは始まりました。「娘さんが事件に巻き込まれて殺害されたい。詳細は調査中のため、分かり次第連絡する」とのことでした。私たちは何かの間違いだと思いついて祈る気持ちでいましたが、程なくして28日夕方にタクシー運転手により殺害されたことが判明しました。

私たちは、精神的に耐えがたい苦しみの中「娘をそのまま日本に返すか、現地で荼毘に付すか。保険はどうなっているか。日本に送る費用はどうするか」等の決断を迫られ、何故こんな事で苦しめられなければならないのか、怒りを何処にぶつければ良いのかもがくばかりでした。

事件後2ヶ月程で死刑判決が出ました。相手国としては早く事件を処理し、観光客が元通り戻ることを最優先しただけなのではないかと考えてしまいます。「死刑以上に何を望むのか」と問われると返答に窮しますが、私たち家族としては「何故千晴を殺害したのか」加害者から真実を聞いたかったです。しかし、国が違うためにどうすることも出来ないうちに時間は過ぎてしまいました。余りにも早い結末に呆然とするばかりでした。国外で被害に遭うと、国内とは別の問題があります。あすの会で要望していた外国での犯罪被害に対しても給付金を支給する「国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律」が6月1日に可決されたことは、遅ればせながら歓迎すべきことであります。

事件後2年位してあすの会の人達に出会い、悩み、苦しみを相談する事ができるようになりました。もっと早くたどり着く事が出来れば良かったのと思います。これからも大きなことは出来ませんが、何をすれば千晴が喜んでくれるか考えていきたいと思っています。